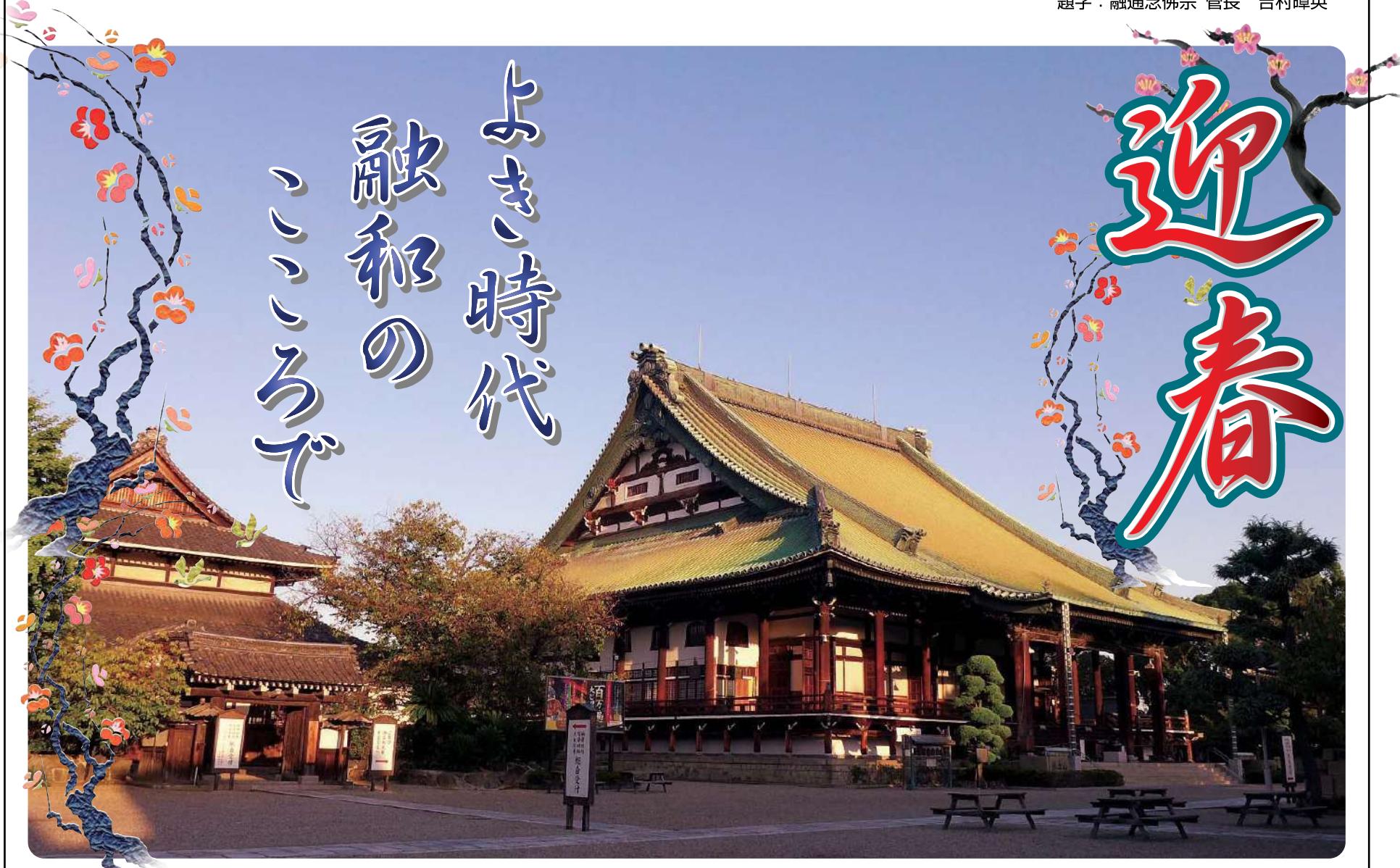


大念佛

No.86

発行／融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26

題字：融通金佛堂 筆者：吉村曉葉



あけましておめでとうござります
令和の年号になつて初めての新年を
迎えました。

本年が佳き年でありますように
心から神仏のお加護を祈願するもの
であります。ご承知のように、「令
和」の二文字は万葉集から採られた
ものです。「時に初春、令月にして
氣淑く、風和らぎ…」

ここで令は、令婦人とか令息な
どのように、よい、美しいという意味
和は、やわらぐ、なごむ、なごやか
のどかなどの意味があります。従つて
令和とは、よき時代、融和の心とい
うことになります。

人びとの幸せを願い、救済につとめること)の心に立ち帰る努力の中にこそ、平和の光が見えてくるのです。この心は大は国家から、小は個々人の行動と感情の中に生き続けなければならぬと思います。

融通念佛の精神は、まさに融和の心です。融和とは融通和合のことであり、互いに融け合い一つになることです。そこにやわらぎが生まれます。お互いに融和の心で接することにより、人間関係はどんなにか良好になることでしょう。

令和という年号に込められた思いは、そのまま融通念佛宗の願いであります。

昨年は台風十五号、十九号が相次いで上陸し、各地に大きな被害をもたらしました。東日本大震災や西日本の水害等の恐怖が記憶に新しい中での出来事でした。多くの尊い人命が失われ、住居や仕事場が奪われました。

亡くなられた人たちのご冥福と
現地の一日も早い復興を祈念申し上
げます。

同悲の悲しみという言葉があります。これは他人の悲しみをわが悲しみとして受け止めることをいうのです。ですが、今こそ私たちはその思いを強くするものであります。

『よき時代 融和のヒューラー』

融通念佛宗管長
吉村暲英

新春インタビュー 新しい時代に向けて



日本は令和という新しい時代を歩もうとしています。

近年、科学技術は飛躍的に発展し、世の中が便利になつてきました。

しかし反面、それに伴う負の問題も現れています。

また、人の心の持ちようも変わつてきているように思います。

仏教徒として私たちは

どのように生きていけばいいのでしょうか。

新しい時代に向け吉村暉英管長猊下に伺いました。

聞き手 編集長 橋本 悅雄

地球環境

聞き手 宗教とは直接関係が無いかも知れませんが、生活の便利さを追求するあまり、地球環境が変わつてきました。その結果と思われる自然災害が頻発するようになりました。本宗青年会も積極的に現地に赴いてボランティア活動を行っています。

管長猊下 地球温暖化がもたらす弊害に、

私たちは今ようやく気が付いたのではないですか。台風の襲来によって大水害が日本の各地で発生しています。家屋の倒壊、断水、停電など人びとの生活を恐怖の底に落とし込む様相が報じられるたび、心が痛みます。

プラスチックごみによる海洋汚染も深刻な問題です。

これらは人災であります。人間がその欲望のために作りあげたものだと知ることが大切です。



傾聴ボランティア



AI
聞き手 AI（人工知能）の研究が加速度的に進んでいます。

聞き手 AI（人工知能）の研究が加速度的に進んでいます。

AIとは、人と同じような知識的・情報処理をするソフトウェア（プログラム）です。

人に代わって正確?に判断することから、いろんな面に利用されつつあります。積極的な正の利用としては、無人兵器など、負の利用としては、無人兵器などがあげられます。そして究極的にはAIが人間の知能を超えるとまでいわれています。

管長猊下 AI（人工知能）

という言葉もすっかり耳慣れするようになりました。人間の頭脳を超える分野も沢山生まれています。しかし最終的にAIは人間を超えることはできません。

なぜならAIは知識あるいは多様な情報という面では優れていますが、要するに、人としてあるべき心、あるべき姿に衿を糸結すことといえるでしょう。

英知（叡知・叡智）を辞書で調べてみると、「ものごとの道理を悟るためのすばらしい才知」とあります。甚だ難しい言葉ですが、要するに、人としてあるべき心、あるべき姿に衿を糸結すことといえるでしょう。



事として受け止め、自分にできることは何かを考えることが大事なことです。義援金、ボランティアなどが先ず考えられますが、心静かに祈ることも大事です。特にボランティアは年齢、体力等で難しい場合も多いわけです。ささやかでも自分にできる何かを見つけることが大切だと思います。

しかしここに大きな問題があります。ご承知のように、AIを始め、科学技術の発展はめざましい進歩を遂げました。それと較べて人間の英知（叡知）はどれだけ進歩したかを考えると、甚だ心細い感じがします。進歩どころかむしろ退歩している感じがぬぐえません。

人間が本当に人間らしく生きていいくのはこの英知を輝かすこと以外にありません。宗教の役割もまた、これに尽きるといつていいでしょう。神仏を敬い、祖先を崇拜し、朝、日が醒めれば「ああ、きょうも命を戴いた」と昇る朝日に手を合わせ、夕べ静かに一日をふりかえり、沈む夕日に手を合わす。私に言わせれば、これはすばらしい英知のはたらきなのです。

英知（叡知・叡智）を辞書で調べてみると、「ものごとの道理を悟るためのすばらしい才知」とあります。甚だ難しい言葉ですが、要するに、人としてあるべき心、あるべき姿に衿を糸結すことといえるでしょう。

希望、夢、祈りの心など人間の英知は他の追随を許さない崇高なもので。あらゆる生物の中で人間だけに与えられた神仏からの戴きものです。

自利利他

聞き手 日本を含め世界を見て
も国家、民族、宗教間の対立が
後を絶ちません。

自國、自己ファーストの意識
が社会の中で強くなってきてい
るのではないかでしょうか。仏教
には「自利利他」の精神があり
ます。

管長猊下 仏教はその成立当
初すなわち小乗仏教または原始
仏教といわれる時代は、専ら自
己のめざめを重要視していました。
これを覚者といい、さまざまな
煩惱（迷い）に打ち克つて心の
平安を保ち、他を導く人格者に
なることです。ところが紀元前
一世紀頃から、菩薩集団が出現し、
出家者だけでなく、在家の人た
ちが仏教を学び、仏道を実践す
るようになつて、仏教は大きな
発展を遂げました。いわゆる大
乗仏教といわれるものです。こ
こでは「自利利他」が強調され
るようになりました。

自利とは自分自身の修行によ
つて、自分が悟り、悟りの喜
びを得て楽しむことで、従来の
小乗仏教の修行をいいます。しか
しだ大切なのは利他といつて、自
分以外の他の多くの人びとを幸
せと喜びの世界に導くことが最
も大切にされるようになりました。
尤も他を導くにはまず自分自
身がめざめなければなりません。
だから自利と利他是一つのもの
といえるのですが、特に他を利
することが優先されました。

仏の教えを深く信じ実践する
人のことを菩薩といいますが、

菩薩は利他を先とす、といわれ
るよう、自分以外の他の多く
の人を救済することが第一義と
されるようになりました。

これは利他が成就することに
よつて、自利も成就することを
いったものです。

あらゆる人たちに温かい救い
の手を差し伸べなければならない。
それによって自分もまた済むわ
れるというわけです。

今の世相を見てみると、自己フ
ァーストという名の利己主義すな
わち自分だけが良ければそれで
いいという考え方が目立ちます。
しかし仏教では一人だけの幸せ
はないのです。私一人の幸せのた
めに、世のすべての人が汗を流
してくれているのです。いうなれ
ば私一人の中に世のすべての人
がすっぽり入つているというこ
とです。またお經の中に「皆共成
仏道」（皆ともに仏の道を成就せ
ん）とあるように、ともに手を
携えてこそ幸せの道（仏道）が
成就することを説いています。

宗教離れ

聞き手 便利さ、効率、簡素化
を進めるに、めんどうな事は避
けようとします。「宗教離れ」
を考える時、心の拠り所になる
宗教もめんどうな部類に入つて
いるのでしょうか。

管長猊下 「宗教離れ」昨今
この言葉をよく耳にするようにな
りました。これは日常生活の
中で精神面に目を向けることが
少なくなったということなので

しょうか。かつて、「物で栄え
て心で亡ぶ」といわれたことを
思い出します。

いわゆる「物」と総括され
事々物々を心と切り離して考え
るところに誤りがあるのです。

物にも心があるのです。いや心
を注入しなければならないのです。

例えはここに大好きだった父親
のたつた一つの形見として、安
価な古い腕時計があります。こ

こにはありし日の父親の気持ち
がこもっています。家族のため
に汗して働いてくれた姿、やさ
しい言葉、ときには厳しい言葉。

最早、単なる一個の時計（物）
ではなく、父親の心そのもの

です。つまりこちらの心を入れ
ることによって対象もまた心の
こもった物となつて生きている。

すべてはこの心が決めるのです。

その「心」を大切にするのが
宗教です。だから宗教離れとは、
心の運びができるない状態とい
うことです。

テクノロジーの進展に伴う世
の中のめまぐるしい変化で、私
たちは人と人、人と物をつない
でいる「心」や「魂」といった
大切なものを失っているかも
知れません。目に見えないけ
れど、それに気付くことで少し
は問題が解決されるのではないか
いでしょうか。次の世代に向
け私たちに責任があるように
思います。



融通念佛宗 東京布教の開催について

昨年、薬師寺は加藤
朝胤師を新管主に迎えられ、融通念佛宗とし

てお祝いに訪れた際、
薬師寺東京別院の事を詳しく述べることができました。

もともと、本宗の倍

厳良舜前猊下は薬師寺と親交深く、加藤朝胤

の御回在や融通声明に関心を持ってくださつて
いることもあり、薬

師寺東京別院を使用しての東京布教を促して

ました。

皆様のご理解、ご協力、そし

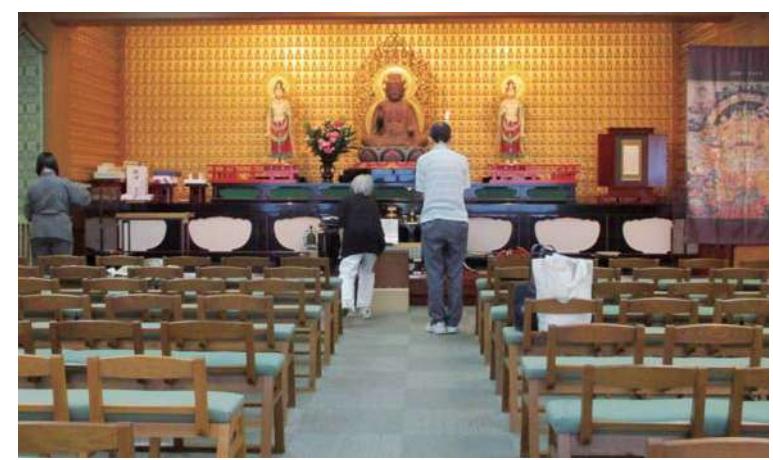
てご高配をよろしくお願ひ申し

上げます。

つきましては、令和元年度中
に「歩みだし事業」として薬師
東京別院本堂をお借りして、
寺東京別院本堂を取り組むことを企画
致しました。

念佛寺瑞祥閣ほどの広さがあり
ます。そこでは常時「お写経」
が行われています。

寺東京別院本堂をお借りして、
東京布教に取り組むことを企画
でした。



東京布教のお知らせ

実施場所

薬師寺東京別院

東京都品川区東五反田五一十五一十七

日 時 令和二年三月七日（土）午後一時

内 容

・お頂戴と猊下御親教

・法話・懇談・懇親

・十一尊天得如來ご開帳、吉村障英猊下導師のもと法要

申し込み・お問い合わせ

大念佛寺宗務所 006-6791-1002
申し込みが必要です。人数に限りがございます。

子ども会

十教区 德融寺内 阿波谷 駿介



湧寺での最後のお勤めをして、帰路へ就きました。
本山にて今回の修行体験最後のお勤めをし、解散しました。

頂きました。肉類は入っておらず、野菜、こんにゃく、お揚げさんで作られたカレーです。「お肉が欲しい!」と言う子もいましたが、やはりこれも修行なのです。

夜のお勤めでは日々忘れがちな命の大切さを布教師の先生に説いてもらい、子ども達だけでなく大人の為になるお話をして頂きました。

翌日五時半起き、朝のお勤め、ラジオ体操、朝食を食べ、いよいよ登山の時間となりました。しかし残念ながら、昼前後の天気の予想があり良くななく、山の中継ボイントまでの登山となりました。

七月三十、三十一日に大阪府河内長野市の岩湧山中腹にある岩湧寺にて一泊二日の修行体験にスタッフとして参加しました。

今回子ども達のほとんどが初参加という事でドキドキとワクワクで当日を迎えました。近頃の若者の寺離れを感じていた中で少しでも興味を持つてくれた事は大変嬉しかったです。

お昼頃に総本山に集合し、お勤めをして岩湧寺へ出発しました。

みんなでお経を唱えたり、「礼拝」を全員の「南無阿弥陀仏」の声が揃うまで続けたりと、おそらく今まで経験した事のない仏教の世界に触れてもらいました。最初は小さかった声も終わりに近づくにつれて大きくなつていったのが私としてはとても印象深い出来事でした。夕食は毎年恒例の精進カレーを



記事の訂正

令和元年七月号（お盆号）の四ページ、「融通教会家元 武田花風師ご逝去」の記事において執筆者への編集部の再確認が不十分であつたため二箇所訂正がありました。

三段目一、「太平洋戦争の」は編集部が加筆したものでこれを削除し、同じ六、七行目「心に光明」を「心の光明」に訂正させていただきます。

最初にも述べましたが、最近の寺離は仏教界全体の問題でもあります。そこに追い討ちをかけるように夏頃に僧侶によるおり運

転が全国的に報じられました。さらに以前ラジオのコーナーでは飲食店で横柄な態度をとる僧侶への対処法を相談された方もおられました。若者はそういう情報に敏感な分、ますます寺離が加速しています。

今回の修行体験では子ども達とともに濃密な一泊二日を過ごす事が出来たと思っております。先生の為になるお話をして頂きました。

とても濃密な一泊二日を過ごす事が出来たと思っております。先生の為になるお話をして頂きました。

翌日五時半起き、朝のお勤め、ラジオ体操、朝食を食べ、いよいよ登山の時間となりました。しかし残念ながら、昼前後の天気の予想があり良くななく、山の中継ボイントまでの登山となりました。

お昼頃に総本山に集合し、お勤めをして岩湧寺へ出発しました。

今回子ども達のほとんどが初参加という事でドキドキとワクワクで当日を迎えました。近頃の若者の寺離れを感じていた中で少しでも興味を持つてくれた事は大変嬉しかったです。

お昼頃に総本山に集合し、お勤めをして岩湧寺へ出発しました。

みんなでお経を唱えたり、「礼拝」を全員の「南無阿弥陀仏」の声が揃うまで続けたりと、おそらく今まで経験した事のない仏教の世界に触れてもらいました。最初は小さかった声も終わりに近づくにつれて大きくなつていったのが私としてはとても印象深い出来事でした。夕食は毎年恒例の精進カレーを

大念佛寺 年中行事ご案内（二月～七月）

修正会

◎一月一日(水・祝) ■午前五時

国家安泰・五穀豊穣・万民豊楽を祈願して法要が修されます。

◎一月十六日(木) ■午前十一時

ご一緒にお念佛をえましょう。

◎一月十六日(木) ■午後一時

百万遍会(大数珠くり)

■午後一時

外陣いっぱいに張りめぐらされた数珠を、お念佛の声もろともに繰ります。

身体堅固のお加持が受けられます。

◎二月三日(月) ■午前九時三十分

本山僧侶が平野の町を鉦を打ち鳴らしながら托鉢します。

◎二月三日(月) ■午後一時

毎月第一水曜日

元祖忌法要

◎二月二十六日(水) ■午後一時

河内御回在御帰院

◎二月三日(火) ■午前七時

融通念仏会

◎三月五日(木) ■午後一時

再興忌法要

◎三月三十日(火) ■午後一時

万部法要

◎五月一日(金)～五日(火・祝)

融通念仏会

◎五月十六日(土) ■午前十一時

百万遍会(大数珠くり)

■午後一時

河内御回在御帰院

◎五月二十九日(金) ■午後三時頃

保管靈骨追善法要

◎六月十三日(土)・十四日(日) ■午後一時

中祖忌法要

◎七月七日(火) ■午後一時

鳥羽上皇忌

◎七月二十日(月) ■午後一時

定例布教(日曜日の時は二十七日)

●毎月二十六日 ■午後一時三十分

●写経のご案内

●毎月第二水曜日

●午後二時～四時三十分

●午後三時まで、白雲閣にて写経(一巻千円)を行っております。

★納骨のご案内

午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けています。

尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。

午後三時まで、白雲閣にて写経(一巻千円)を行っております。

●お問い合わせ

●日程については、変更になる時もございます。

●お問い合わせ

謹賀新年

融通念佛宗總本山 大念佛寺

管　　主　吉村　暉英

宗務総長　田中　瑞修

教學部長　吉井　良久

庶務部長　佐々木智祥

財務部長　篠塚　章臣

東照大権現忌

◎五月二十一日(金)

午後一時

でんわ ○六 (六一四五) 五一〇 午後一時～五時迄

話せば、心も軽くなる 大阪仏教テレホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。

月曜日～金曜日 一月十一日～十一月二十四日(八月休)

午後一時～五時迄